

**パソコン編** ※画面はAndroidになるため、iPhoneは表示が一部異なります。

**スマホ編**

**スマホでもパソコンでも簡単に参加ができます!**

- 1 「ミーティングに参加する」をクリック
- 2 ミーティングIDを入力して「参加」をクリック
- 3 ダウンロードが完了したら左下をクリック
- 4 Zoomのインストール完了まで待機
- 5 「ミーティングを起動」をクリック
- 6 「コンピュータでオーディオに参加」をクリック

- 1 iPhoneはAppStore、AndroidはGooglePlayで「zoom」と検索
- 2 Zoom Cloud Meetingsの「入手/インストール」をクリック
- 3 インストールされたら「Zoom」のアイコンをクリック
- 4 「ミーティングに参加」をクリック
- 5 ミーティングIDと参加者名を記入して「参加」をクリック

※スマホ・パソコンどちらもお使いの機種や種類によって、説明と異なる手順になる場合もありますのでご了承ください。

Liberal & Democratic

# 自由民主党 蒲郡市議団通信

vol.014

蒲郡市長  
すずき ひさあき  
**鈴木 寿明**



皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのこと心からお慶び申し上げます。今年も引き続き「蒲郡市民憲章三つの誓い」にある、ひとづくり・いえづくり・まちづくりを市政の原点として、市民一人ひとりが希望と幸せを実感できるまちを目指してまいります。

「ひとづくり」では、新型コロナウイルス感染症などの有事を見通して、令和2年度中に全学年の児童生徒1人1台のタブレット端末を導入し、あわせてオンライン授業の環境整備を整えてまいります。

「いえづくり」では、水竹公園のオープンに続き、双太山公園をリニューアルして健康遊具やウォーキングコースを整備いたしました。今後も自主的な健康づくりの推進に取り組んでまいります。

また、南海トラフ地震の発生などを想定した訓練を通して、関係機関としっかり連携を取りながら、安全・安心な蒲郡を推進してまいります。

「まちづくり」では、新型コロナウイルス感染症対策基金を活用して、売上額が減少した中小企業者などを支援する蒲郡市独自の支援金の給付、プレミアム付商品券や食事券、クラウドファンディングを活用した「がまごおり未来チケット」の販売など、市内経済の活性化を図ってまいります。今後も市民の皆様にとって、何が必要なる支援かを常に考え、効果的な対策を講じてまいります。

新型コロナウイルス感染症は、いまだに先が読めない状況ではありますが、今後も官民一体となってこの厳しい局面を乗り越え、蒲郡市の発展に向けたまちづくりを進めてまいります。

団長  
おおば やすのり  
**大場 康議**



新年明けましておめでとうございます。2021年を迎えるにあたり、一言お祝い申し上げます。

昨年初めより全世界を震撼させております新型コロナウイルス感染症の拡大が日本におきましても未だ収束する目途も立てられない中、国民の生活の困窮や地域経済に及ぼす影響、医療従事者や医療機関への過度な負担、介護、福祉、教育各般に於いても様々な課題が浮き彫りとして現れた1年でありました。

蒲郡市におきましては、昨年3月初めに4名の感染者が確認され蒲郡市の総力を挙げて感染拡大収束に努めてきました。早々に昨年5月議会で緊急対策の補正予算を立ち上げ、6月議会では自由民主党蒲郡市議団が強く要望していただきました「新型コロナウイルス感染症対策基金」を創設して頂き、蒲郡ポート事業会計の資金を財源に本格的な支援策にかかる補正予算が議決されました。

市民生活向け支援・事業者向け支援・子どもの学習生活支援・高齢者支援・市税等の減免や徴収猶予など蒲郡市独自の事業も組み入れました。6月議会以降におきましてもコロナ関連施策は様々な立ち上げております。

2021年度においては、蒲郡市の10年先を見据えた「蒲郡市第5次総合計画」が策定されます。策定された総合計画の下に各種の事業計画が具体化され、小中学校規模適正化、保育園、公民館等の見直し検討、東港や中心市街地の再開発等、新しい未来の蒲郡市像が浮かび上がることとなります。

私は、コロナ禍の中で大変厳しい状況に置かれている業界・業種や市民の方々のために、議員として粉骨砕身努めて参りますので宜しくお願致します。

衆議院議員  
いまえだ そういちろう  
**今枝 宗一郎**



明けましておめでとうございます。平素大変お世話になっております。

昨年は新型コロナウイルスの感染が、日本だけでなく、世界規模で大きな問題となった年でした。私、今枝宗一郎は自民党の新型コロナウイルス対策医療系議員団本部の幹事長として、一日でも早い終息に向け、取り組ませて頂いております。検査や医療体制の拡充は特に重要で、愛知県の拠点病院を尾張ではなく三河に、東三河にも療養施設を豊川に作る事が出来ました。蒲郡、愛知14区の皆様にもご安心できる環境を作れたのではないかと思います。

命を守るという点では、経済困窮による自殺者を増やさないよう、雇用や賃金、地域経済を守る事も重要です。春には、60兆円、年末には、40兆円の経済対策を決め、世界一の休業補償を実現する雇用調整助成金制度の延長や最大1億円の地域企業がコロナ禍でも対応できる業態とする為の支援も、党の商工中小企業委員長として強く訴え実現しました。

また、コロナ禍で東京一極集中の問題が浮き彫りになりました。社会機能移転分散型国づくり推進特命委員会の事務局長でもありますので、蒲郡の地方創生の切り札として、首都機能の移転も推進しつつ、国道23号線や蒲郡港などのインフラ整備にも全力を尽くします。

最後になりますが、自民党蒲郡市議団の皆様におきましては、常日頃蒲郡市の発展のためにご尽力頂いていること、厚く御礼申し上げます。今後も国、県、市がしっかりと連携し、今よりも更にいい町になるよう、一緒に取り組んで参りたいと思っています。皆様にとって、本年が素晴らしい年になりますよう心よりご祈念申し上げます。

愛知県議会議員  
ひだ つねとし  
**飛田 常年**



新春のお慶びを申し上げます

昨年は新型コロナウイルス感染症に世界中が震撼させられた年でした。今年に入っても終息が見えないなか、とくに医療関係の皆様には、最前線で戦っておられる敬意と感謝を申し上げます。

愛知県としては新型コロナウイルス感染症対策予算として県民の皆様のために感染拡大防止や医療面での対策、県民生活への対策、経済対策費に昨年は2月から11月補正予算までに8回の3,118億円、外に債務負担行為1,201億円の合計4,319億円もの補正予算を組み、対応をさせて頂いております。

県民の皆様も3密を避け、マスク、手洗い、うがい等、個々に予防対策を立てご協力をお願いします。

また、自然災害も非常に心配であります。いつ起きるか分からない南海トラフ巨大地震・大型台風・ゲリラ豪雨等、備えだけはしっかりお願いします。

社会資本整備では蒲郡地区において、国道23号蒲郡バイパスの早期全線開通、(都)大塚金野線の事業化、国道247号中央バイパス及び鹿島バイパスの4車線化へ、また三河港蒲郡地区11号岸壁及びびふ頭用地の整備等、引き続き国・県へ要望してまいります。

本年も鈴木市長・今枝代議士・自由民主党蒲郡市議団の皆さんと一緒に、県民・市民の生活と命を守るためにしっかりと働かせていただきます。一日も早く新型コロナウイルス感染症が終息して、経済が復活し、通常の生活にもどることをご祈念いたします。

**11月3日 市民文化祭開会式**



蒲郡市文化協会創立50周年記念となる市民文化祭開会式に参加しました。コロナ対策で一部オンライン実施するなどの工夫も取り入れられました。

**11月18日 JA蒲郡市青年部 情報交換会**



コロナ対策のため人数制限をした上で、みかん・いちご・食用菊・マイクロトマトのハウスを訪問し、それぞれで説明いただきながらご要望も伺いました。

**11月19日 蒲郡警察署訪問**



新しくなった蒲郡警察署を訪問し、防犯に関して様々な意見交換を行った後、1階から屋上までの各施設をご紹介いただきました。

**12月13日 市民まちづくりフォーラム**



第五次蒲郡市総合計画の策定に向け、鈴木市長と5名によるパネルディスカッション、大学生による東港エリア開発提案が行われました。

**1月9日 三谷コミュニティバス出発式**



三谷地区支線バス「おおしまくるりんバス」出発式が三谷公民館で行われました。地域で守り、育てて行きたいと考えています。